

平成20年度第1回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成20年6月21日(土)午前10時～12時15分

2 開催場所 中央図書館2階視聴覚室

3 出席者

(委員)方波見委員長 坪井副委員長 谷口委員 奥村委員 田中委員 岩崎委員
小出委員 根津委員 藤田委員 増田委員
(事務局)森田館長 本多係長 長田係長 林主任司書

4 議題

(1)報告事項

平成19年度利用統計及び事業報告について
年間貸出し200万冊達成について
平成19年度決算について
中央図書館開館25周年記念事業について

(2)協議事項

図書館法改正(第7条関係)に伴う方策について

5 議事の概要

平成19年度の利用統計及び事業及び年間貸出し200万冊達成について事務局より一括して報告を行った。

平成19年度決算について事務局より報告を行った。

中央図書館開館25周年記念事業について事務局より報告を行った。

図書館法改正(第7条関係)に伴う方策について、趣旨、現状及び今後の協議内容等について事務局より説明を行った。

6 会議経過

平成19年度の利用統計及び事業及び年間貸出し200万冊達成について事務局より一括して報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

- ・ リクエストと予約に違いはあるのか。総貸出し冊数とリクエスト冊数の差は、利用者が実際に棚から本を選らんだかどうかの違いか。
- ・ リクエストの中には新規購入や相互貸借によるものも含んでおり、厳密に言うと予約とリクエストは違うのではないか。
- ・ インターネットで予約をして資料を取りに来ない利用者はどれくらいいるのか。

- ・ 未所蔵資料のリクエストはカウンターでしなくてはいけないのか。
- ・ 市外へ貸出しするのと、借受けるのではどちらが多いのか。

平成 19 年度決算について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

- ・ 給与等の人件費は含まれているのか。
- ・ 事業間の予算の流用は認められるのか。
- ・ 講座、講演会については市民への P R , コミュニケーションの場を強化する上からももっと増やしても良いのではないか。
- ・ 図書館運営費と一般事務費の内容を説明して欲しい。

中央図書館開館 25 周年記念事業について事務局より報告を行った

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

- ・ 図書館検定が興味深い。
- ・ 図書館まつりばかりではないが、男性の利用者の参加が少ないのではないかと。もともと関心が薄いこともあるが、これらシニア層に対する働きかけをもっと考えてもらいたい。市内の老人クラブや、サークル等との協同することも必要である。

公募作品の選考委員については根津委員を選出した。

図書館法改正(第 7 条関係)に伴う方策について、趣旨、現状及び今後の協議内容等について事務局より説明を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

- ・ 司書の資格はどのように取得するのか。図書館においてシニアの専門的知識を生かして学習を支援することなども考えられないか。
- ・ コミュニティーやネットワーク形成による図書館応援団作りも考えるべきである。
- ・ 目標の設定に当たっては、浦安図書館はすでにある程度高いレベルにあり、この点を考慮すべきである。

- ・ 質の面での評価を進めることは難しいことであるが、そのために業務の負担をあまり増やすことがないよう気をつけたほうが良い。
- ・ ITサービスなどを増やし、外部の視点をいれることは外部のニーズが高まり、費用や業務も増えることとなる。限度やコストの軽減も同時に考える必要がある。
- ・ 実質貸出率が3割ということは、7割の人が貸出しをしていないともいえる。周りには図書館を利用していない人も見かける。そのような人に月1回でも図書館に足を向けさせるような働きかけも課題であると思う。
- ・ 学校図書館は読み物中心の読書を楽しむところから、調べ物学習などにより情報を得るための場所になってきている。しかし、学校図書館の蔵書だけでは生徒の学習に応えることができない。「これからの図書館像」には、学校の公共図書館の活用も触れられており、公共図書館で調べ物学習用の資料をストックしてもらおうようなことはできないだろうか。

7 傍聴者なし